

日本高野連発第W5687号
平成19年4月6日

長野県高等学校野球連盟

会長 赤地 憲 一 殿

財団法人 日本高等学校野球連盟
会長 脇 村 春 夫



投手の受傷事故防止について(通達)

加盟各校には日頃からプレイに起因する負傷事故について、細心の注意を払っておられることと思います。

資源保護と経済性の観点から導入した金属製バットも平成13年から実施した新基準以後、反発性能の抑制には一定の効果が見られるものの、木製バットは反発性能においてまだ違いがあります。

当連盟では平成13年に練習時における投手のヘッドギア着用を義務付けるなど、打撃投手の事故防止を呼びかけてきました。また、今春製品安全協会が胸部打撲による心臓震とう防止用の保護パッドの安全基準を制定、各メーカーもこれにより防護用品の開発、販売に着手しています。

ところで先月、当連盟に報告された投手の受傷事故が3件ありました。1件は練習試合中の投手に打球が側頭部に当たったもの、ついで選抜大会参加中の2チームの試合日以外の練習中、打撃投手の頭頂部と、前頭部に打球が当たる事故がありました。

いずれも幸い重大な事故となりませんでした。しかし練習中の前頭部に当たった事故ではヘッドギアが使用されていませんでした。

練習時の打撃投手には必ずヘッドギアを着用するよう、今一度ご指導くださるよう、お願いします。

一方当連盟では、投手の利き目と利き腕との関係に着目、双方に左右の違いがある場合、投手に向けた打球の処理に一瞬の遅れが出ないか、という主旨で実態調査をしました。

この実態調査は、今回の選抜大会出場校の投手89人について調査したほか、東京6大学野球連盟と関西学生野球連盟の協力を得て、加盟各大学野球部に在籍する投手全員について調査しました。このデータを下に専門医にも分析を依頼しています。今後は投手が打球処理に要する反応時間の調査も計画しています。

利き目と利き腕の違いが打球処理の反応時間にどれだけ影響するかは現段階で不明ですが、別紙資料を注意喚起の意識付けの参考として部員にご指導くださるよう、よろしくお願いします。

以上

投手の利き目調査

07年4月3日
日本高等学校野球連盟

日本高等学校野球連盟では、投手の打球による受傷事故防止の一環として投手の利き目を調査した。左投手ではフォロースルーのあと、「右目が利き目のとき、打球の方向を追うのがやや劣るので注意喚起が必要ではないか」（その逆もある）との仮説をたて、投手の利き腕と利き目の実態を調査した。

利き目の調査は、東西の大学野球連盟にも協力を求め、多くの投手の実態も把握した。第79回選抜高等学校野球大会で、大会前に実施した投手の関節機能検査の際、調査した結果は次の通り。

▷ 検査人数 89人

		右	左
利き目	(n=89)	66(74%)	23(26%)

▷ 利き腕との関係

		右	左
右投	(n=63)	53(84%)	10(16%)
左投	(n=26)	13(50%)	13(50%)
合計	(n=89)	66(74%)	23(26%)

▷ 打撃姿勢との関係

		右	左
右打	(n=52)	45(87%)	7(13%)
左打	(n=37)	21(57%)	16(43%)
両打	(n=0)	0	0
合計	(n=89)	66(74%)	23(26%)

▷ 投げ手と打撃姿勢

		右	左
右投・右打	(n=51)	45(88%)	6(12%)
右投・左打	(n=12)	8(67%)	4(33%)
左投・右打	(n=1)	0	1(100%)
左投・左打	(n=25)	13(52%)	12(48%)
合計	(n=89)	66(74%)	23(26%)

〔検査結果〕

利き目は右目が多かった。右投げ投手の利き目は右が多かったが、左投げ投手では利き目に左右差はなかった。打撃姿勢で見ると、右打ち投手の利き目は右目が多かったが、左打ち投手では利き目に明らかな差はなかった。投球側と打撃側を併せて比較すると、右投げ右打ちで明らかに右目が多かった。

〔検査方法〕

検者は一側上肢を伸ばし母指と示指で小さな円をつくる。離れた対象物をその円の中に入れる。検者は左目を閉じ対象物がある円の中に止まっているか動いているかをチェックする。もし止まっていれば検者の右目が利き目である。(医歯薬出版筋骨格検査法原著2版より)

〔調査結果の分析〕

調査の主な目的とした利き目と利き腕の違いは；

	利き腕	利き目
選抜大会出場校	右投手 63 人	左目 10 人(16%)
	左投手 26 人	右目 13 人(50%)
関西学生連盟	右投手 87 人	左目 31 人(36%)
	左投手 28 人	右目 12 人(43%)
東京 6 大学連盟	右投手 104 人	左目 46 人(44%)
	左投手 40 人	右目 17 人(43%)
総合計	右投手 254 人	左目 87 人(34%)
	左投手 94 人	右目 42 人(45%)

〔まとめ〕

今回の調査対象とした高校生、大学生の全検査人数は 348 人で、右目が利き目とする投手はちょうど 60%で、左目が利き目とするのが 40%だった。

利き腕と利き目が同じとするのは 62%だった。

〔専門医のコメント〕

今回の調査結果は、右腕が利き腕の場合、右目が利き目であることが多いが、左腕が利き腕の場合、右目が利き目である場合と左目が利き目である場合が半々であるということを示していますが、これは過去の報告と一致する結果です。野球選手に対する海外の研究では、ピッチャーでは利き腕と利き目が同じ側である選手の方が、反対側である選手より、よい成績を残す傾向があるという報告がありますが、統計的に有意なものではありません。ピッチャーが投球するときには、まず両目でキャッチャーミットを見て距離感を得たあと、目と腕の協調運動により投球動作を行うわけですが、利き目と利き腕が同方向か逆方向かで、フォロースルー後、打球の方向を追う上で差があるか否かは、さらなる検討が必要だと思います。

大阪大学医学部附属病院眼科 不二門 尚(ふじかど たかし) 教授

東京6大学		利き目				
		右		左		
検査人数	144人	75人	52%	69人	48%	
利き腕	右投	104人	58人	56%	46人	44%
	左投	40人	17人	43%	23人	58%
打撃姿勢	右打	89人	48人	54%	41人	46%
	左打	53人	26人	49%	27人	51%
	両打	2人	0人	-	2人	100%
利き腕・打撃姿勢	右投・右打	89人	48人	54%	41人	46%
	右投・左打	14人	10人	71%	4人	29%
	左投・右打	0人	0人	-	0人	-
	左投・左打	40人	17人	43%	23人	58%
	右投・両打	1人	0人	-	1人	100%

関西学生6大学		利き目						
		右		左		両		
検査人数	115人	67人	58%	47人	41%	1人	1%	
利き腕	右投	87人	55人	63%	31人	36%	1人	1%
	左投	28人	12人	43%	16人	57%	0人	-
打撃姿勢	右打	71人	43人	61%	27人	38%	1人	1%
	左打	44人	24人	55%	20人	45%	0人	-
	両打	0人	0人	-	0人	-	0人	-
利き腕・打撃姿勢	右投・右打	71人	43人	61%	27人	38%	1人	1%
	右投・左打	16人	12人	75%	4人	25%	0人	-
	左投・右打	0人	0人	-	0人	-	0人	-
	左投・左打	28人	12人	43%	16人	57%	0人	-

大学・高校 総合計		利き目						
		右		左		両		
検査人数	348人	208人	60%	139人	40%	1人	0%	
利き腕	右投	254人	166人	65%	87人	34%	1人	0%
	左投	94人	42人	45%	52人	55%	0人	-
打撃姿勢	右打	212人	136人	64%	75人	35%	1人	0%
	左打	134人	71人	53%	63人	47%	0人	-
	両打	2人	0人	-	2人	100%	0人	-
利き腕・打撃姿勢	右投・右打	211人	136人	64%	74人	35%	1人	0%
	右投・左打	42人	30人	71%	12人	29%	0人	-
	左投・右打	1人	0人	-	1人	100%	0人	-
	左投・左打	93人	42人	45%	51人	55%	0人	-
	右投・両打	1人	0人	-	1人	100%	0人	-